

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり24.7㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員を配置しております。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		室内、トイレはバリアフリーで車いすの移動にも対応ができるようになっております。 スロープが後付けで少し段差があるため、児童が室内を移動する際は、声かけ、見守りを実施しております。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		定期的に消毒・換気を徹底し、毎日の清掃や汚れた場所の清掃も実施しております。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		フロアや個室、和室を児童や活動内容に応じて空間を使い分け、最適な環境づくりに努めております。	
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		月に1回のリフレクション会議をおこない、職員が参加して見直しや今後の目標について討議しております。 シフト制のため全員で一斉に会議に参加することは難しいですが、会議後に議事録を作成し、職員全員で共有できるように努めております。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に保護者様にアンケートをおこなっております。 また、送迎時やお迎えにきていただいた際の会話の中でご意見をいただいた場合は、ご意向を把握し、会議で話し合い、改善を図るようにしております。	
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月に1回の会議をおこない、意見を言う場を設けることで問題点の把握、業務改善に努めております。	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		年度初めに年間研修予定を計画し、事業所内研修を実施しております。 定期的な研修の開催で職員の意識が向上できるように努めております。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		公式Webサイトに公表しております。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		個々の児童に対し、保護者様とアセスメントをおこない、その際に児童および保護者様のニーズを聞き取り、客観的に分析したうえで児童発達支援計画を作成しております。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		児童発達支援計画を作成後、職員全員が閲覧できるように提示し、計画に基づいた支援をおこなっております。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		毎朝、利用予定に基づき、当該児童について職員が意見を出し合い、一日の流れや支援内容、役割分担を確認し、より良い支援ができるように努めております。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		統一化されたアセスメントシートを使用したり、日々の経過記録の内容をもとにしたりして支援計画の作成へとつなげております。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援項目が設定されているか。	9		放課後等デイサービスガイドラインを踏まえたうえで、保護者様と面談をおこない、児童の支援に必要な項目を設定しております。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		ケース会議で児童の特性や活動内容の見直しをおこない、職員間で話し合い、環境等を考慮し、チームで立案しております。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		療育内容の見直しや話し合いを随時おこない、イベントや季節ごとの活動、制作などを取り入れ、固定化しないようにプログラムの工夫に努めております。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童の発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎朝、利用予定に基づき、当該児童について職員が意見を出し合い、一日の流れや支援内容、役割分担を確認し、より良い支援ができるように努めております。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援終了後には送迎等で全員参加にならないときもありますが、支援の中で気づいたことや、気になることなどを職員間で伝え合い、共有し、また次回の指導にもつながるように努めております。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援終了後には送迎等で全員参加にならないときもありますが、支援の中で気づいたことや、気になることなどを職員間で伝え合い、共有し、また次回の指導にもつながるように努めております。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングをおこない、面談にて保護者様のご意向を踏まえ、児童の状況や課題などを話し合い、計画の見直しを判断しております。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9		放課後等デイサービスのガイドラインを踏まえながら支援をおこなっております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		支援や活動の中で選択肢の中から児童が自己選択をする場面を設けることで、自己決定をする力を育てるための支援をおこなえるように努めております。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		担当者会議には、児童の状況を一番把握できている児童発達支援管理責任者、管理者、その児童に多く関わりを持つ指導員や保育士、専門的支援をおこなう専門職員が参画しております。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		関係機関と積極的に情報共有や相談をおこない、連携した支援ができるように努めております。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		送迎の際や電話連絡、HUGのアプリ等を通して、定期的に情報共有が出来るように努めております。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		送迎の際や、電話や訪問の際に、情報共有をおこない、相互理解を図ることができるように心がけております。 また、必要に応じて教育相談の場にも参加しております。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		現在、該当する児童がいないため、実施しておりません。	今後児童が学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報共有ができるように努めてまいります。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		現在、地域の児童発達支援センターとの連携を図る機会を設けることはできておりません。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携を図り、助言をいただく機会を設けてまいります。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		現在、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会を実施できておりません。	今後は保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		今年度から自立支援協議会に参加しております。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		HUGアプリでの発信や送迎時、お迎え時などで療育内容や発達の状況および課題について伝えたり、保護者様からお話をお聞きしたりすることで、情報交換に努め、児童についての共通理解を深めています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		送迎時や必要に応じて事業所内で面談をおこなったり、訪問を実施したりし、ご相談に対するアドバイスをさせていただいております。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に丁寧な説明をおこない、双方で同意のもと契約を交わしております。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		児童発達支援計画を作成する際は必ず保護者様と面談をおこない、意思の尊重、児童の利益の優先考慮の観点を踏まえながら、児童やご家族の意向を確認しております。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		児童発達支援計画が作成できた際は、支援内容の説明をおこない、保護者様から同意をいただいております。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		保護者様のお話に寄り添う姿勢を大切にしております。 子育てや児童の発達の悩みなどのご相談には、話しかけやすい雰囲気づくりを心がけ、時にはご家族への訪問等、保護者様のニーズに合わせた支援に努めております。	
40	父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		保護者様同士やきょうだい同士で交流する機会は作れておりません。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら検討してまいります。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		ご相談やお申し入れには迅速に対応できるように努めております。 また、職員間で相談や申し入れの周知をおこなったり、職員間でご意見を出し合うなどして、適切な対応ができるように心がけております。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		COMPASSだよりの季刊発行や、毎月おたよりを作成し、保護者様へHUGアプリを通して発信しております。 この他にも公式WebサイトでブログやYouTubeで療育チャンネルを運営し、各種SNSでも情報を発信しております。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		児童とは個々の特性に合わせた伝達手段を選択し、わかりやすい言葉かけのうえ、意思を確認しております。 保護者様とはHUGアプリ、電話、面談など、その時々で最適な方法を選択し、専門用語を避け、ご理解いただけるまで説明をおこなっております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		現時点では実施できておりません。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら検討してまいります。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		緊急時対応マニュアル等を作成し、保護者様にも見やすい場所に提示し、職員にも周知徹底しております。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		毎年年度初めに年間計画を立案し、地震、火事、不審者への対応などの避難訓練、職員での消火訓練を定期的におこない、絵本などを用いて児童にはわかりやすく説明できるように努めております。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		事前に服用や発作時の情報について聞き取りをおこない、通院前後には症状を詳しく確認しております。 また、緊急時には全職員が対応できるように共通理解を図っております。	
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者様より面談時に詳しい情報をいただき、全職員で情報共有をおこなっております。 また、定期的に状況を確認し、情報を更新するなど、細心の注意を払っております。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、計画に沿って必要な研修や訓練をおこなっております。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		安全計画に基づいて、災害時の避難場所の掲示、配布をおこなっており、保護者様に周知しております。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットの発生時にはその都度ヒヤリハット報告書を作成し、職員が振り返り、改善できるようにファイルに綴っております。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待に関しては、職員研修を年間計画に盛り込み、研修資料をもとに虐待防止に関する勉強をおこない、全職員が一貫した対応に努めております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		契約時にご説明し、やむを得ない場合は、保護者様の同意をいただき、計画書に記載するようにしております。	